Nikon

ZR 活用ガイド

（ファームウェアバージョン 2.00
補足説明書）

Jp

目次

ファームウェアバージョンアップによる変更内容（C:2.00） 3

ファームウェアバージョン（C:2.00）による機能の追加・変更について.....3
ファームウェアバージョンについて.....3
ファームウェア（C:2.00）による変更点一覧.....5
静止画撮影関連.....5
動画撮影関連.....5
操作関連.....5
ピクチャーコントロールの項目名［**Cloud Picture Control**］が［**Imaging Recipe**］に変更.....6
動画撮影メニュー［**動画記録ファイル形式**］の［**H.265 10-bit（MOV）**］に階調モード［**Log3G10**］を追加.....7
カスタムメニューg16［**3D LUTの設定**］の機能追加と名称および制限の変更.....9
［3D LUT］の名称が［3D LUTの設定］に変更.....9
［3D LUT］に［有効（HDMI優先）］が追加.....9
Log3G10用LUTを撮影画面に適用時に［フォーカスピーキング］が使用可能.....10
N-Log撮影時に［**高感度ノイズ低減**］が使用可能.....11
カスタムメニューb4として［**ISO感度簡易設定**］が追加.....12
カスタムメニューf2［**カスタムボタンの機能（撮影）**］とg2［**カスタムボタンの機能**］に機能追加.....13
撮影モードM時のコマンドダイヤルに露出補正、ISO感度、ホワイトバランス、または色温度の割り当てが可能.....13
g2［カスタムボタンの機能］で変更された機能.....14
カスタムメニューg12として［**露出補正簡易設定**］が追加.....15

ファームウェアバージョンアップによる変更内容（C:2.00）

ファームウェアバージョン（C:2.00）による機能の追加・変更について

ZR「活用ガイド」の内容は、ファームウェアのバージョンがC:1.10であることを前提に説明しています（最新の活用ガイドはダウンロードセンターからダウンロードできます）。お使いのカメラのファームウェアがC:2.00の場合、この補足説明書の内容が追加または変更されています。合わせてお読みください。

ファームウェアバージョンについて

カメラのファームウェアバージョン確認およびバージョンアップは、セットアップメニュー［**ファームウェアバージョン**］で行えます。

カメラのファームウェアをバージョンアップするには、次の方法があります。

- **パソコンでニコンダウンロードセンターからファームウェアを取得する場合**：ニコンダウンロードセンターで新しいバージョンのファームウェアがあるか確認できます。バージョンアップの手順については、ファームウェアのダウンロードページをご覧ください。
  https://downloadcenter.nikonimglib.com/
- **スマートフォンでSnapBridgeアプリを使用してファームウェアを取得する場合**：SnapBridgeアプリでカメラとスマートフォンをペアリング済みの場合、カメラの新しいファームウェアがあるとアプリにお知らせが表示され、スマートフォン経由でファームウェアをカメラ内のメモリーカードに転送できます。バージョンアップの手順については、SnapBridgeアプリのヘルプをご覧ください。お知らせが表示されるタイミングは、ニコンダウンロードセンターで公開されるタイミングと異なる場合があります。
- **Nikon Imaging Cloudからカメラにファームウェアをダウンロードする場合**：Nikon Imaging Cloudからのファームウェアバージョンアップ通知がカメラにある場合、［**ファームウェアバージョン**］に［**今すぐバージョンアップ（クラウド**

から)]が表示されます。[**今すぐバージョンアップ(クラウドから)**] > [**する**]を選んでマルチセレクターを右に倒すと、インターネット経由でファームウェアをカメラにダウンロードできます。ダウンロードが完了すると、自動的にバージョンアップを開始します。

ファームウェア（C:2.00）による変更点一覧

カメラのファームウェアをC:2.00にバージョンアップすると、次の機能に変更があります。詳しくは各参照先をご覧ください。

静止画撮影関連

- ピクチャーコントロールの項目名［**Cloud Picture Control**］が［**Imaging Recipe**］に変更（🕮6）

動画撮影関連

- ピクチャーコントロールの項目名［**Cloud Picture Control**］が［**Imaging Recipe**］に変更（🕮6）
- 動画撮影メニュー［**動画記録ファイル形式**］の［**H.265 10-bit（MOV）**］に階調モード［**Log3G10**］を追加（🕮7）
- カスタムメニューg16［**3D LUTの設定**］の機能追加と名称および制限の変更（🕮9）
- N-Log撮影時に［**高感度ノイズ低減**］が使用可能（🕮11）

操作関連

- カスタムメニューb4として［**ISO感度簡易設定**］が追加（🕮12）
- カスタムメニューf2［**カスタムボタンの機能（撮影）**］とg2［**カスタムボタンの機能**］に機能追加（🕮13）
- カスタムメニューg12として［**露出補正簡易設定**］が追加（🕮15）

カスタムメニューの番号について

バージョンアップによるメニューの追加および入れ替えがあるため、一部のカスタムメニューは番号が変更されています。本書では変更後の番号で記載しています。

ピクチャーコントロールの項目名［Cloud Picture Control］が［Imaging Recipe］に変更

ピクチャーコントロールの項目名［**Cloud Picture Control**］が［**Imaging Recipe**］に変更されました。それに伴い、静止画撮影/動画撮影メニュー［**ピクチャーコントロール**］>［**クラウドピクチャーコントロールを登録**］も［**イメージングレシピをダウンロード**］に変更されました。

動画撮影メニュー［動画記録ファイル形式］の［H.265 10-bit（MOV）］に階調モード［Log3G10］を追加

動画撮影メニュー［**動画記録ファイル形式**］で［**H.265 10-bit（MOV）**］を選択したときの階調モードに［**Log3G10**］が選択可能になりました。
［**Log3G10**］は、ハイライト側の白飛びやシャドー側の黒つぶれを抑える広いダイナミックレンジのLog曲線を使用した階調モードです。Log3G10で撮影したMOV形式の動画は、RED Digital Cinema, Inc.（RED社）のIPP2で撮影したデータと同様のポストプロダクション工程でカラーグレーディングを行うことができます。

- 撮影画面に**Log3G10**が表示されます。
- カラーグレーディングを行うには、Log3G10に対応する他社製の動画編集用ソフトウェアが必要です。
- カラーグレーディングを撮影時にカメラの撮影画面で確認するにはLog3G10用のLUTを使用します。［**3D LUTの設定**］を設定すると、Log3G10用のLUTや動画編集用ソフトウェアで作成したLUTを撮影画面に適用できます。
- Log3G10撮影時は撮影画面が低コントラストで表示されます。カスタムメニューg15［**ビューアシスト**］を［**ON**］に設定すると、簡易的な階調補正を適用して撮影画面に表示します。
- 輝度情報（［**ヒストグラム**］、［**ウェーブフォームモニター**］）には、高輝度側に白とびの目安となる警告線が表示されます。

MOV形式のLog3G10撮影時のご注意

- 動画撮影メニュー［**ISO感度設定**］>［**制御上限感度**］で設定できる下限はISO1600、上限はISO25600になります。
- 動画撮影メニュー［**ISO感度設定**］>［**Mモード時のISO感度**］で設定できる下限はLo 2.0、上限はISO25600になります。
- 動画撮影メニュー［**ピクチャーコントロール**］、［**アクティブD-ライティング**］、［**美肌効果**］、［**人物印象調整**］は設定できません。
- Log3G10撮影時は、輝度が上限値（［**ヒストグラム**］の場合は右端、［**ウェーブフォームモニター**］の場合は上端）でなくても白飛びします。白飛びする輝度の警告線で輝度を確認して撮影してください。
- Log3G10撮影時は、動画撮影メニュー［**ヴィネットコントロール**］を［**しない**］に設定することをおすすめします。［**ヴィネットコントロール**］が［**しない**］以外の場合、周辺光量の低下を補正することで、記録する映像の輝度が警告線を超え、白飛びが発生することがあります。
- Log3G10撮影時に、カスタムメニューg16［**3D LUTの設定**］>［**3D LUT**］を［**有効（モニター）**］または［**有効（HDMI優先）**］に設定している場合、動画撮影メニュー［**動画フリッカー低減**］>［**デジタルフリッカー低減**］は設定できません。
- オートフォーカス時にピントが合いにくくなりますが故障ではありません。
- 被写体の検出性能が低下することがあります。

動画撮影メニュー［**動画記録ファイル形式**］の［**H.265 10-bit（MOV）**］に階調モード［**Log3G10**］を追加

カスタムメニューg16［3D LUTの設定］の機能追加と名称および制限の変更

カスタムメニューg16［**3D LUT**］の名称を［**3D LUTの設定**］に変更しました。それとともに、［**3D LUT**］の設定項目が追加されました。また、3D LUTを使用していても、［**フォーカスピーキング**］が使用可能になりました。

［3D LUT］の名称が［3D LUTの設定］に変更

カスタムメニューg16［**3D LUT**］の名称が［**3D LUTの設定**］に変更されました。

［3D LUT］に［有効（HDMI優先）］が追加

カスタムメニューg16［**3D LUTの設定**］>［**3D LUT**］に［**有効（HDMI優先）**］が追加されました。それに伴い、ファームウェアバージョンC:1.1x以前と同じ機能を設定するための［**有効（モニター）**］も追加されました。

項目		内容
［**3D LUT**］	［**有効（モニター）**］	Log3G10用LUTがカメラの画像モニターに適用されます。 ・ファームウェアバージョンC:1.1x以前と同じ機能になります。
	［**有効（HDMI優先）**］	Log3G10用LUTがHDMI出力した映像に適用されます。画像モニターには適用されません。 ・HDMI接続の有無にかかわらず、LUTは画像モニターに適用されません。
	［**無効**］	Log3G10用LUTが撮影画面に適用されません。

・アシスト表示でも、［**有効（モニター）**］/［**有効（HDMI優先）**］/［**無効**］を切り換えることができます。

Log3G10用LUTをHDMI出力した映像に適用するときのご注意

- セットアップメニュー［**HDMI**］>［**出力解像度**］を［**2160p（プログレッシブ）**］以外に設定してください。［**2160p（プログレッシブ）**］に設定し、3840×2160の解像度でHDMI出力中にLUTを適用した場合、HDMI出力が停止します。
- Log3G10用LUTをHDMI出力した映像に適用する場合、次の制限があります。
  - HDMI対応機器に出力できる解像度は1920×1080までになります。
  - HDMI対応機器に出力されるフレームレートはカメラの設定に従います。ただし、出力映像の更新頻度は最大30回/秒となります。
- 動画撮影メニュー［**画像サイズ/フレームレート**］を1920×1080を超えるサイズに設定した場合、HDMI出力中に［**3D LUT**］の設定を切り換えると、HDMI出力される映像が乱れることがあります。メモリーカードに記録する映像には影響ありません。

Log3G10用LUTを撮影画面に適用時に［フォーカスピーキング］が使用可能

Log3G10用LUTを撮影画面に適用しているときに、カスタムメニューa11［**フォーカスピーキング**］が使用可能になりました。

- LUTを撮影画面に適用しているときは、フォーカスピーキングで強調する部分の色味が変わる場合があります。

カスタムメニューg16［**3D LUTの設定**］の機能追加と名称および制限の変更

N-Log撮影時に［高感度ノイズ低減］が使用可能

動画撮影メニュー［**動画記録ファイル形式**］を［**ProRes 422 HQ 10-bit（MOV）**］または［**H.265 10-bit（MOV）**］に設定し、階調モードを［**N-Log**］に設定しているときに、動画撮影メニュー［**高感度ノイズ低減**］が使用可能になりました。

カスタムメニューb4として［ISO感度簡易設定］が追加

カスタムメニューb4として［**ISO感度簡易設定**］が追加されました。［**ON**］に設定すると、静止画モード時にコマンドダイヤルでISO感度を変更できるようになります。

- 撮影モード**M**の場合は無効になります。
- ISO感度を変更できるコマンドダイヤルは、撮影モードによって異なります。
- カスタムメニューb3［**露出補正簡易設定**］とは同時に使用できません。一方を有効にすると、もう一方は自動的に無効になります。

カスタムメニューf2［カスタムボタンの機能（撮影）］とg2［カスタムボタンの機能］に機能追加

カスタムメニューf2［**カスタムボタンの機能（撮影）**］およびg2［**カスタムボタンの機能**］でボタンなどに割り当てられる機能が変更されました。

撮影モードM時のコマンドダイヤルに露出補正、ISO感度、ホワイトバランス、または色温度の割り当てが可能

カスタムメニューf2［**カスタムボタンの機能（撮影）**］またはg2［**カスタムボタンの機能**］>［**コマンドダイヤル**］の項目名［**露出設定**］が［**露出設定/サブ機能**］に変更されました。
それとともに、撮影モード**M**時のコマンドダイヤルの機能として露出補正（**E**）、ISO感度（**ISO**）、ホワイトバランス（**WB**）、または色温度（**K**）を割り当てられるようになりました。

- ［**露出設定/サブ機能**］の設定画面で撮影モード**M**を選び、ズームレバーを一側に動かすとメインコマンドダイヤルとサブコマンドダイヤルの機能を設定できます。



- マルチセレクターの左/右でコマンドダイヤルを選び、マルチセレクターを上/下に倒して機能を割り当てます。
- g2［**カスタムボタンの機能**］でISO感度（**ISO**）を割り当てた場合、動画撮影メニュー［**ISO感度設定**］の［**Mモード時のISO感度**］が設定できます。動画撮影メニュー［**動画記録ファイル形式**］が［**R3D NE 12-bit（R3D）**］の場合は、［**ISO感度設定**］の［**ISO感度**］が設定できます。

g2［カスタムボタンの機能］で変更された機能

カスタムメニューg2［**カスタムボタンの機能**］でボタンに割り当てられる機能名［**ビューアシスト**］が［**3D LUT/ビューアシスト**］に変更され、ボタンで操作できる機能も変更されました。

項目		内容
ASSIST	［**3D LUT/ビューアシスト**］	3D LUTの場合は、ボタンを押すごとに、カスタムメニューg16［**3D LUTの設定**］>［**3D LUT**］が［**有効（モニター）**］、［**有効（HDMI優先）**］、［**無効**］に切り替わります。 ビューアシストの場合は、ボタンを押すごとに、カスタムメニューg15［**ビューアシスト**］が［**ON**］、［**OFF**］に切り替わります。 ・動画記録ファイル形式や階調モードなどの設定を変更すると、3D LUTまたはビューアシストが有効になります。これらの機能が有効になる設定にすると、カスタムボタンで設定できる機能も切り替わります。

カスタムメニューg12として［露出補正簡易設定］が追加

カスタムメニューg12として［**露出補正簡易設定**］が追加されました。動画モードでFn1（▨）ボタンを使用せずコマンドダイヤルだけで露出補正できるように設定を変更できます。

項目	内容
［**ON**］	コマンドダイヤルだけで露出補正値を設定できます。
［**OFF**］	露出補正を設定するには、Fn1（▨）ボタンを使用する必要があります。

- 撮影モード**P**、**S**、または**A**の場合に有効です。 撮影モードAUTOまたは**M**の場合、露出補正簡易設定は機能しません。
- 露出補正値を設定できるコマンドダイヤルは、撮影モードによって異なります。

株式会社 ニコン
株式会社 ニコン イメージング ジャパン

© 2026 Nikon Corporation

CT6K02(10)
6MO22610-02